

※以下の資料は冷凍・冷蔵の設定方法の一例です。

※温蔵の設定は基本変更できません。(機種により変更可能ですが、サービスマン対応です。)

### 使用温度および湿度範囲について

■外気温度15～30℃の範囲、湿度は60%以下でご使用ください。  
この範囲をはずれますと冷えが悪くなる場合があります。

### 冷水温度調節のしかた

■冷水温度は外気温、湿度等の周囲条件によって変化しますので、冷水温度調節ダイヤルを回して調節してください。

■通常、温度調節ダイヤルは「適冷」の位置でご使用ください。尚、庫内側面が凍結する場合は冷え過ぎですので「弱」の方向へ温度調節ダイヤルを回してください。冷えが弱い場合は「強」の方向へ回してください。ご用がすみましたら元の「適冷」の位置に戻してください。

### BC(冷水ショーケース)の例

### 温度調節について

■通常は、冷蔵レベル1(適温)でご使用ください。  
(出荷時は冷蔵レベル1で設定されています。)

庫内温度は7段階の冷蔵レベルで調節することが可能です。  
ただし、庫内温度は外気温、湿度等の周囲条件や商品の陳列状態によって変化しますので、冷蔵レベルを調節しても庫内温度が下がらない、または商品が冷え過ぎるおそれがあります。

| 冷蔵レベル | 庫内温度    |
|-------|---------|
| -1    | 強       |
| 0     | 適温      |
| 1     | 適温(出荷時) |
| 2     | 弱       |
| 3     | 弱       |
| 4     | 弱       |
| 5     | 弱       |

■庫内温度の設定は、電装箱にあるコントロールパネルにて行います。

- ①フロントパネルを開けてください。
- ②設定スイッチを押してください。"od"が表示され、庫内温度設定モードになります。
- ③もう1度設定スイッチを押すと冷蔵レベルが表示されます。
- ④△、▽スイッチを押して希望の冷蔵レベルに合わせください。
- ⑤設定スイッチを押してください。

変更された設定値が記憶され、庫内温度表示に戻ります。  
※②～④で、1分以内に設定スイッチが押されなかった場合、自動的に庫内温度表示に戻ります。  
※温度設定中の画面で庫内温度表示に戻りますとその時の変更温度は設定されません。

### SAR(標準型ショーケース)の例

### 温度調節について

■デジタル表示板には通常、庫内温度が表示されています。  
(品温ではありません。)

<庫内温度設定変更の操作方法>

現在の庫内温度

現在の設定温度

変更後の設定温度

3段階減

- ①2秒間「SETキー」を押し続けます。
- ②現在の設定温度が表示され、温度単位「℃」が点滅します。設定温度を変更したい場合は、温度単位「℃」が点滅している間に、△▽を押して設定したい温度に変更してください。(操作しない時間が15秒継続すると、温度表示に戻ります。)
- ③設定したい温度に変更したら、「SETキー」を押してください。設定温度表示と温度単位「℃」が3回点滅し、設定変更が完了します。

※「SETキー」を押さずに15秒経つと温度表示に戻り、変更前の設定温度のままとなります。

### SCR-D(冷凍デュアルケース)の例

## 温度調節について

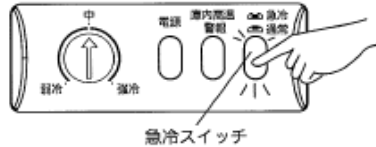
## SCR-R(チェストフリーザー)の例

- 庫内温度の調節は、製品の前面下部にある庫内温度調節ダイヤルで行います。
- 通常は四季を通して「中」の位置でご使用ください。  
冷えすぎの時は「弱冷」方向へ回してください。
- 冷えが弱い時は、「強冷」方向へ回してください。



## 急冷スイッチについて

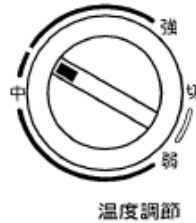
- 急冷スイッチを押すと、ランプ（橙）が点灯し冷却装置が連続運転します。
  - もう一度スイッチを押すと消灯し、庫内温度調節に従った通常運転に戻ります。
- ※ご用が済みましたら通常運転に戻してください。



## 温度調節のしかた

## SCR-S(冷凍ストッカー)の例

- 庫内温度の調節は製品後面下部の温度調節つまみを回して行います。
- 冷えが弱いときは「強」、冷えすぎるときは「弱」の方向へ回してください。
- 「切」にすると運転が停止します。



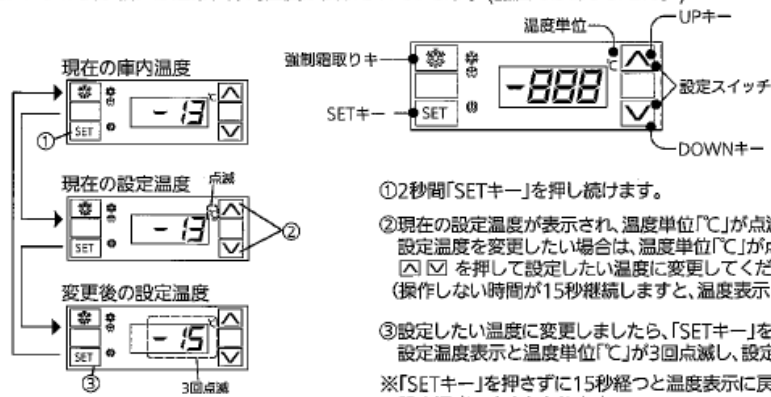
## 再始動について

- 再始動は5分以上の間をおいてください。
- 運転を停止した後、すぐに運転すると過負荷保護装置や配線用遮断機などが動作したり、圧縮機に無理がかかるなどして、故障の原因になります。

## 温度調節について

## SCR-VD(ディッピングケース)の例

- ジェラートの時は、「-12~-18℃」を目安に調節してください。  
設定環境に応じて、アイスが硬い場合は庫内温度設定を高く、軟らかい場合は庫内温度設定を低くしてください。
- デジタル表示板には通常、庫内温度が表示されています。(品温ではありません。)



- ①2秒間「SETキー」を押し続けます。
  - ②現在の設定温度が表示され、温度単位「℃」が点滅します。  
設定温度を変更したい場合は、温度単位「℃」が点滅している間に、  を押して設定したい温度に変更してください。  
(操作しない時間が15秒継続すると、温度表示に戻ります。)
  - ③設定したい温度に変更したら、「SETキー」を押してください。  
設定温度表示と温度単位「℃」が3回点滅し、設定変更が完了します。
- ※「SETキー」を押さずに15秒経つと温度表示に戻り、変更前の設定温度のままとなります。

### 温度調節について

### SMR(冷蔵ショーケース標準型)の例

- 通常は「中」の位置でご使用ください。
- 庫内の冷えは、外気温や湿度により変化する場合があります。その時は温度調節つまみを回して調節してください。冷えが弱い時には「強」、冷えすぎるときは「弱」の方向へ回してください。
- 「商品凍結注意」の位置での使用は、商品凍結のおそれがあります。



### 温度調節(冷蔵)について

### SMR(冷蔵ショーケース標準型)の例

- 通常は「中」の位置でご使用ください。
- 庫内の冷えは、外気温や湿度により変化する場合があります。その時は温度調節つまみを回して調節してください。冷えが弱い時には「強」、冷えすぎるときは「弱」の方向へ回してください。
- 「商品凍結注意」の位置での使用は、商品凍結のおそれがあります。



### 温度調節について

### SPT(催事用ショーケース)の例

- 庫内温度の調節は、製品後面のパネルを下方向に開き温度調節ダイヤルで行なってください。(5ページ参照)
- 庫内温度は、外気温、湿度等の周囲条件によって変化しますので、冷えすぎの時は「弱」方向へ、冷えが甘い時は「強」方向へ温度調節ダイヤルを回して調節してください。



## 温度設定について

## SRL(冷凍リーチインショーケース)の例

- デジタル表示板の表示温度は、庫内空気温度を示しています。庫内空気温度は実際の商品温度よりも低い温度となります。また、霜取り直後は庫内空気温度が上昇するため、一時的に高い温度を表示しますが、商品の品温には影響ありません。
- やむを得ず変更が必要な場合は、12ページ「霜取り設定、温度設定について」の設定手順で行ってください。

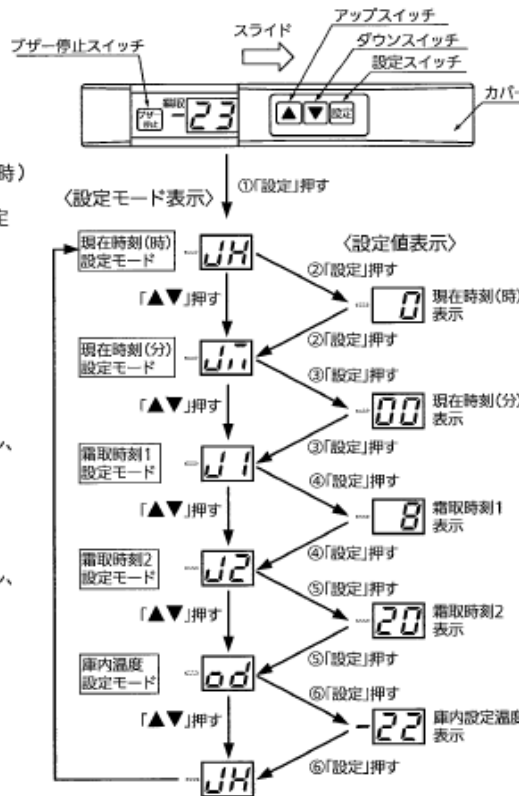
## 霜取り設定、温度設定について

- 霜取り設定と庫内温度設定は、電装箱のコントロールパネルにて行います。
- 現在時刻の設定と霜取り開始時刻の設定を行うことで、定時刻になると自動的に霜取りを行います。
- 初めて三相電源を入れたとき、時刻は「0時00分」となりますので、必ず現在時刻を合わせてください。
- 停電などにより、一時的に運転が停止しても設定時刻は保持されますが、長時間電源を切っていた場合は、初期設定「0時00分」に戻りますので、再度時刻設定が必要です。
- 霜取り開始時刻は工場出荷時に「8時、20時」に設定してあります。任意の時間に変更したい場合は、霜取り時刻1、2を変更してください。
- 庫内温度は工場出荷時にアイスクリームの陳列販売用の適温に設定してありますので、通常は変更不要です。一時的に変更が必要な場合は、下記手順にて操作してください。

### <設定手順>

- フロントパネルを開け、デジタル表示板のカバーを右側にスライドさせて操作します。

- ①設定スイッチを一回押し、現在時刻(時)設定モード『JH』に切り換えてください。
- ②さらに設定を一回押しと「現在時刻(時)」が表示されます。▲▼スイッチを押して現在時刻(0~23時)に合わせて変更し、設定スイッチを押してください。変更された設定値が記憶され、現在時刻(分)設定モード『J/』に切り換わります。
- ③さらに設定を一回押しと「現在時刻(分)」が表示されます。▲▼スイッチを押して現在時刻(00~59分)に合わせて変更し、設定スイッチを押してください。変更された設定値が記憶され、霜取り時刻1設定モード『J1』に切り換わります。
- ④さらに設定を一回押しと「霜取り時刻1」が表示されます。▲▼スイッチを押して希望の(時)に変更し、設定スイッチを押してください。変更された設定値が記憶され、霜取り時刻2設定モード『J2』に切り換わります。
- ⑤さらに設定を一回押しと「霜取り時刻2」が表示されます。▲▼スイッチを押して希望の(時)に変更し、設定スイッチを押してください。変更された設定値が記憶され、庫内温度設定モード『od』に切り換わります。
- ⑥さらに設定を一回押しと「庫内設定温度」が表示されます。▲▼スイッチを押して希望の温度に変更し、設定スイッチを押してください。変更された設定値が記憶され、現在時刻(時)設定モード『JH』に切り換わります。



- ※「▲」を押すと設定値を表示せず設定モードが進みます。
- ※「▼」を押すと設定モードが逆に進みます。

- 設定中に1分以上スイッチ操作をしなかった場合、自動的に庫内温度表示に戻ります。
- 設定中にブザー停止スイッチを押すと、庫内温度表示に戻ります。
- ▲▼スイッチで設定値を変更した後、設定スイッチを押さずに庫内温度表示に戻った場合、設定値は更新されません。
- ▲▼スイッチで設定変更した後、他設定の変更が不要なときは、次設定モード表示のときにブザー停止スイッチを押して、庫内温度表示に戻ってください。



## 温度調節について

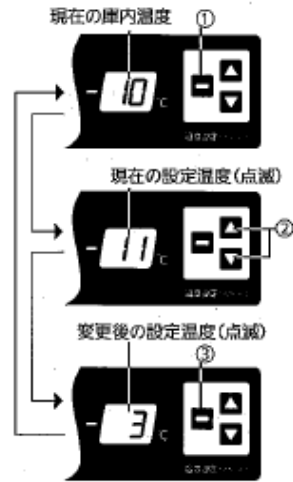
## SRL-J(ジョッキクーラー)の例

■庫内温度の設定は、コントローラーにて行います。

- ①「-」を押してください。
- ② 現在の設定温度が点滅表示されます。  
設定温度を変更したい場合は、現在の設定温度が点滅表示している間に「▲」「▼」を押して設定したい温度に変更してください。

- ③設定したい温度に変更したら、「-」を押してください。設定変更が完了し庫内温度表示に戻ります。

※①②③で、30秒間に何も操作されなかった場合、自動的に庫内温度表示に戻ります。  
※温度設定中の画面で庫内温度表示に戻りますとその時の変更温度は設定されません。  
※温度設定範囲は-15~5℃です。

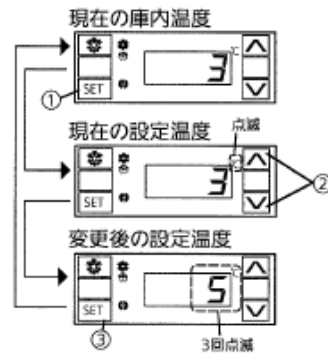


## 温度調節について

## SRM(冷蔵リーチインショーケース)の例

■デジタル表示板には通常、庫内空気温度が表示されています。  
(商品温度ではありません。)

<庫内温度設定変更の操作方法>



- ①2秒間「SETキー」を押し続けます。
- ②現在の設定温度が表示され、温度単位「℃」が点滅します。  
設定温度を変更する場合は、温度単位「℃」が点滅している間に、  を押して設定したい温度に変更してください。  
(操作しない時間が15秒継続しますと、温度表示に戻ります。)
- ③設定したい温度に変更したら、「SETキー」を押してください。  
設定温度表示と温度単位「℃」が3回点滅し、設定変更が完了します。  
※「SETキー」を押さずに15秒経過しますと温度表示に戻り、変更前の設定温度のままとなります。



## 庫内温度設定変更について

## SSM(冷蔵平型ショーケース)の例



## ⚠ 注意

けがのおそれ

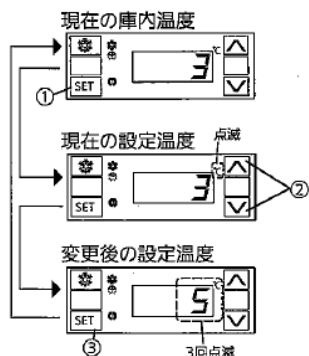


禁止

びん類や缶類は0℃以下で使用すると中身が凍って割れ、けがのおそれがあります。

■デジタル表示板には通常、庫内温度が表示されています。(商品温度ではありません。)

<庫内温度設定変更の操作方法>



- ① 2秒間「SETキー」を押し続けます。
- ② 現在の設定温度が表示され、温度単位「℃」が点滅します。  
設定温度を変更したい場合は、温度単位「℃」が点滅している間に、  を押して設定したい温度に変更してください。  
(操作しない時間が15秒継続しますと、温度表示に戻ります。)
- ③設定したい温度に変更したら、「SETキー」を押してください。  
設定温度表示と温度単位「℃」が3回点滅し、設定変更が完了します。  
※「SETキー」を押さずに15秒経過すると温度表示に戻り、変更前の設定温度のままとなります。

## 温度調節のしかた

### SSR(タテ型ショーケース)の例

- 通常は「中」の位置でご使用ください。
- 庫内の冷えは、外気温や温度により変化する場合があります。その時は温度調節ダイヤルを回して調節してください。冷えが弱い時には「強」、冷えすぎる時は「弱」の方向へ回してください。
- 「強」を超えた「凍結注意」範囲は商品が凍結するおそれがあります。



温度調節ダイヤル

## 温度調節について

### SSR(タテ型ショーケース)旧型の例

通常は、ダイヤルは「中」の位置でお使いください。もし冷えが悪いときは「強」、冷えすぎる時は「弱」の方へダイヤルをまわしてください。  
\*この温度調節つまみは『冷蔵専用』です。  
冷蔵の温度調節は自動温度調節なので調節の必要はありません。



**⚠ 注意** 長時間「強」方向のままご使用になりますと、ビン類や缶類の中身が凍って割れ、ケガの原因になります。